令和元年度～令和３年度　埼玉県立図書館運営の基本方針・重点目標・重点取組・評価指標・行動計画

基本方針　専門的な資料・情報や地域資料等を収集、蓄積し、県民・企業の調査研究に対する支援機能を充実する。

重点目標１　資料・情報提供機能の強化による全県サービスの推進

重点取組　多様な情報要求に対応し県民・企業の課題解決を支援する資料・情報提供の推進

数値目標

		目標値			備考
		R1	R2	R3	
投入指標	パスファインダー*1 等（「リサーチガイド」「調べ方案内」「資料リスト」等）の発行数	20 点	20 点	20 点	*1 パスファインダー･･･あるテーマについて調べる時に役立つ基本資料や調べ方を紹介する資料
	国立国会図書館レファレンス協同データベース事例公開件数	230 件	230 件	230 件	
活動指標	レファレンス件数（事項調査）	5,300 件	5,300 件	5,300 件	
	レファレンス掲示板*2 件数（協力レファレンス）	60 件	60 件	60 件	*2 レファレンス掲示板･･･県内市町村立図書館から県立図書館にレファレンス依頼をするためのインターネット上の掲示板
満足度	レファレンス満足度	4.4 以上	4.4 以上	4.4 以上	5 段階評価。利用者アンケートより算出
	協力レファレンス満足度	4.8 以上	4.8 以上	4.8 以上	5 段階評価。市町村立図書館へのアンケートより算出

行動計画

	取組内容	行動計画（具体的な内容）	
１－１	各分野におけるレファレンスサービスの推進	担当する各分野のレファレンス事例紹介、調べ方案内の発行、調査研究に役立つリンク集等を充実するとともに、国立国会図書館レファレンス協同データベースの「調べ方マニュアル」への事例提供を継続する。レファレンスサービスの認知度の向上、職員の技術向上により、レファレンスサービスを推進する。	投入指標 活動指標 満足度
１－２	県内行政機関や外部機関・団体等との連携事業の拡充	県の各課所館・団体等と連携し、県民向けに周知を図る事項について、課所館等が作製する広報物と図書館資料とを組み合わせた連携展示を協力して実施する。合わせて資料リスト等を作成する。	投入指標
１－３	一人一人のチャレンジ支援につながるビジネス関連情報提供の推進	ビジネス関連の講座・講演会・資料展等を開催するとともに、『仕事に役立つリサーチガイド＠埼玉』の改訂に取り組む。また、関係機関と連携し、一人一人の状況に応じた資料・情報提供を行う。	投入指標
１－４	県民に向けた海外資料サービスの広報及び関連事業の開催	国際理解や多文化共生への理解を深めるため、関連事業を開催するとともに、国際課や国際交流協会等関連機関と連携し、利用案内、ウェブサイト、資料展示等により海外資料サービスを広報する。	投入指標
１－５	県民のヘルスリテラシー向上に役立つ健康・医療情報提供の推進	健康・医療情報関連の講座・講演会、資料展・パネル展示等を開催するとともに、『健康・医療情報リサーチガイド＠埼玉』の改訂・配布を行う。	投入指標
１－６	レファレンス事例データの一般公開の推進	レファレンス事例データを適正に入力・管理し、国立国会図書館「レファレンス協同データベース」へ計画的な提供を行う。	投入指標
１－７	県内市町村立図書館等を対象とした協力レファレンスサービスの利用促進	県内市町村立図書館、図書館類縁機関、大学に対して、レファレンスサービスを支援する「図書館協力レファレンス掲示板」などの活用を促すとともに、受付・回答を迅速に処理する。	投入指標 活動指標 満足度
１－８	非来館型レファレンスサービスの推進	ウェブサイトからのレファレンス受付等、非来館型レファレンスを推進するとともに、2 館が一体となり迅速に調査・回答を処理する。	活動指標 満足度
１－９	行政支援サービスの環境整備と推進	熊谷図書館の行政支援サービス環境を整備し、浦和分室を通じたサービスを推進する。	その他

基本方針　電子図書館化を推進するため、ICT の進展に対応した図書館サービスの提供を図る。

重点目標２　ICT の進展に即した図書館サービス提供の推進

重点取組　ICT を活用した情報提供と環境整備の促進

数値目標

		目標値			備考
		R1	R2	R3	
投入指標	埼玉関係雑誌記事索引データベース入力件数	1,000 件	1,000 件	1,000 件	
	埼玉人物文献索引データ入力件数	350 件	350 件	350 件	
	埼玉県立図書館ウェブサイト更新回数	320 回	320 回	320 回	
活動指標	データベース利用回数	3,000 回	3,100 回	3,200 回	
	埼玉県立図書館デジタルライブラリー*3 埼玉関係データベースの検索件数*4	15,000 件	16,000 件	17,000 件	*3　埼玉県立図書館デジタルライブラリー･･･熊谷図書館が所蔵している貴重書・絵図のデジタル画像を見ることができるコンテンツ。 *4 埼玉関係データベース…熊谷図書館で作成している「埼玉新聞記事見出し索引データ」「埼玉関係雑誌記事索引データ」「埼玉関係雑誌記事索引データ」
満足度	データベース満足度	4.0 以上	4.0 以上	4.0 以上	5 段階評価。利用者アンケートより算出
	埼玉県立図書館ウェブサイト満足度	4.0 以上	4.0 以上	4.0 以上	5 段階評価。利用者アンケートより算出

行動計画

	取組内容	行動計画（具体的な内容）	
２－1	魅力的なウェブサイトの構築	利用者の視点に立ち、わかりやすく効果的な広報ページを作成・更新する。	投入指標 満足度
２－2	埼玉関係データベース及びデジタルライブラリーの充実	埼玉関係雑誌記事索引データ、埼玉関係人物文献索引データの入力を継続するとともに、デジタルライブラリーの公開方法について検討・実施する。	投入指標 活動指標
２－3	所蔵資料等のデジタル化の推進	埼玉資料等のデジタル化を継続するとともに、デジタル資料利用基盤を視野に入れながらデジタルコンテンツを計画的に整備する。	投入指標
２－4	データベースの利用促進	マニュアル整備、研修開催により職員のデータベース利用案内技術の向上に取り組むとともに、活用のきっかけとなる広報やイベントを実施する。	活動指標 満足度
２－5	オープンデータの利用促進	オープンデータの利用環境を整備し活用方法の広報・啓発、利用者向け講習会等を実施する。	その他
２－6	公衆無線 LAN およびインターネット利用端末の利用促進	公衆無線 LAN やインターネット情報利用端末を利用可能な施設であることを、在住外国人および外国人観光客にも分かりやすい形式で広報する。	その他

基本方針　県民の自主的、自発的な活動を支援し、学習機会の提供、学習成果の活用に努めるとともに交流・創造の拠点としての機能を高める。

重点目標３　県民への学習機会の提供の充実

重点取組　様々な学習機会の提供による自主的な活動の支援、交流機会の創出

数値目標

		目標値			備考
		R1	R2	R3	
投入指標	県民参加の事業・連携事業（講座・資料展等）の開催回数	370 回	370 回	370 回	
活動指標	県民参加の事業・連携事業（講座・資料展等）の参加者数	14,200 人	14,300 人	14,400 人	
満足度	県民参加の事業・連携事業（講座・資料展等）の満足度	4.6 以上	4.6 以上	4.6 以上	5 段階評価。参加者対象のアンケートにより算出

行動計画

	取組内容	行動計画（具体的な内容）	
３－１	多様な機関、地域団体との連携の推進	外部事業への参加等、多様な機関と双方向の連携を行うとともに、地域の課題解決に資するため、地域団体と連携事業を実施する。	投入指標 活動指標 満足度
３－２	県内各種図書館と連携した「図書館と県民のつどい」の継続開催	「図書館と県民のつどい」開催により大学図書館、高校図書館との連携を深めるとともに、ビブリオバトル等の子供読書関連事業を県教育局担当部署との連携により実施する。	投入指標 活動指標 満足度
３－３	県内各地での「子供読書に関わるボランティア」活動の支援	子ども読書支援センターの講師派遣事業を継続し「子供読書に関わるボランティア」活動を支援する。	投入指標 活動指標 満足度
３－４	「子供読書に関わるボランティア」団体に向けた講師の研修会開催	「子供読書に関わるボランティア」講師のブラッシュアップと講師間の交流を図るための研修会を開催する。	投入指標 活動指標 満足度
３－５	高度な知識技能を有した音訳者の育成	研修会を開催するとともに、資料製作や対面朗読活動を通じた技術向上を図り、質の高い音訳者を育成する。	投入指標 活動指標 満足度
３－６	体系的な読書活動の支援	放送大学、彩の国いきがい大学、公民館の講座などと連携し、履修コースに沿った読書案内カリキュラムを作成し体系的な読書活動を支援する。	その他
３－７	多様な障害を持つ方々に対応できるマルチメディアデイジー製作体制の充実	マルチメディアデイジーについて、県立図書館での環境整備を行い、製作体制を充実する。	その他
３－８	図書館ボランティアとの連携・支援	各館のボランティア活動をとりまとめるとともに、学習機会の提供の場としてのボランティア活動について検討する。	その他

基本方針　県内市町村立図書館、学校図書館等との連携を進め、図書館ネットワークの中核施設としての機能を充実する。

重点目標４　図書館ネットワークの中核機能の充実

重点取組　県内市町村立図書館、学校図書館等への支援の充実と人材育成

数値目標

		目標値			備考
		R1	R2	R3	
投入指標	図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の開催回数	30 回	30 回	30 回	
活動指標	図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の参加者数	1,470 人	1,485 人	1,500 人	
満足度	図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の満足度	4.5 以上	4.5 以上	4.5 以上	5 段階評価。参加者対象のアンケートにより算出

行動計画

	取組内容	行動計画（具体的な内容）	
４－１	県内市村立図書館等職員向け研修事業の効果的なプログラムの検討と実施	経験年数に応じた職員研修及び県内図書館のニーズを踏まえた研修について、効果的なプログラムを検討し実施する。	投入指標 活動指標 満足度
４－２	県内市町村立図書館等の職員への研修機会の提供	県内市町村立図書館等および教育機関を対象にビジネス支援サービスに関する情報提供を行い、職員研修を開催する。 県内における在留外国人数が年々増加傾向にあり、その窓口となる県内市町村立図書館や県立高校図書館等の支援のため、海外資料サービスの広報や情報提供を継続的に実施し、研修を開催する。	投入指標 活動指標 満足度
４－３	県内市町村立図書館等の健康･医療情報サービス開始・充実の支援	各種レファレンスツールの作成や研修会の実施を通して県内市町村立図書館等における健康・医療情報サービスの開始・充実を支援する。	投入指標 活動指標 満足度
４－４	学校等の特別支援教育活動への支援	学校、各機関に向けて、県立図書館の障害者サービスの広報に努め、発達障害等に対応した資料（マルチメディアデイジー、布絵本や障害を理解するための資料の紹介を通じ、特別支援教育活動への支援を行う。	投入指標 活動指標 満足度
４－５	子ども読書支援センターの学校支援拡充	学校図書館関連講座を計画・実施し、子ども読書支援センターの学校支援を拡充する。	投入指標 活動指標 満足度
４－６	県立図書館職員の専門的能力向上のための研修計画・実施	高度で専門的なサービスに携わる司書職員の能力向上のため、有用な外部研修への参加を継続するとともに職場全体のスキルアップを目指して内部研修を実施する。	その他
４－７	図書館資料搬送システムの整備	図書館協力業務を円滑に実施するための新搬送ルートの検証(2019.10～)および外部書庫連絡便の運行体制の検討・実施を行い、図書館資料搬送システムの整備を進める。	その他
４－８	県内市町村立図書館等との協力担当者会等の継続開催	県内市町村立図書館等との円滑な協力業務実施のため、協力業務の実務的課題を協議・検討する「図書館協力担当者会」を定期的に開催し、「図書館新任職員研修会」では協力業務のガイダンスを行う。	その他

基本方針　専門的な資料・情報や地域資料等を収集、蓄積し、県民・企業の調査研究に対する支援機能を充実する。

重点目標５　資料・情報の収集、蓄積、保存の充実

重点取組　専門的な資料・情報の拡充と蓄積、保存の推進

数値目標

		目標値			備考
		R1	R2	R3	
投入指標	図書の新規収蔵点数	15,500 点	15,800 点	16,000 点	
	視聴覚資料の新規収蔵点数	560 点	560 点	560 点	
	雑誌の新規収蔵冊数	16,000 冊	16,000 冊	16,000 冊	
活動指標	協力貸出点数	40,000 点	40,000 点	40,000 点	市町村立図書館及び類縁機関等への貸出点数
満足度	県立図書館の特徴的資料（ビジネス支援、健康・医療、地域・行政、海外、子ども読書支援）の満足度	4.0 以上	4.0 以上	4.0 以上	5 段階評価。利用者アンケートより算出

行動計画

	取組内容	行動計画（具体的な内容）	
５－１	課題解決に役立つ資料の収集・配置	課題解決に役立つ参考図書・専門図書等を幅広く選定・収集する。また一般に流通していない地域・行政資料や官公庁・企業・団体等の発行した資料を積極的に収集し、児童資料の網羅的収集を進め、資料の充実を目指すとともに市町村立図書館支援に寄与する。収集した資料については、速やかに整理し利用に供するとともに、課題解決支援に効果的な資料配置について随時検討・調整する。	投入指標 活動指標 満足度
５－２	ビジネス支援室（熊谷図書館）の充実	県民・県内企業の課題に即した最新のビジネス関連資料、オンラインデータベース等の各種ビジネス情報源の充実を図るとともに、ビジネス支援室の認知度の向上のため利用案内やサインを工夫する。	投入指標 活動指標 満足度
５－３	海外資料コーナー（熊谷図書館）の充実	外国語資料を充実させるため、継続的な予算の確保に努めるとともに、県立図書館として求められる多様な外国語資料を選定・購入し、各国大使館等からの寄贈資料も積極的に収集・整理する。	投入指標 活動指標 満足度
５－４	健康・医療情報コーナー（久喜図書館）の充実	健康・医療関係資料、パンフレット、オンラインデータベース等情報源等の充実を図り、新たなテーマ別コーナーを設けるなど健康・医療情報コーナーを拡充する。	投入指標 活動指標 満足度
５－５	県内公立図書館所蔵雑誌の県立図書館への移管の継続的実施	県域全体の逐次刊行物の保存機能の役割を果たしていくため、収蔵能力を考慮しながら市町村立図書館からの移管雑誌の計画的受入を継続的に実施する。	投入指標 活動指標
５－６	視聴覚資料の充実	16㎜ 映画フィルムに代わる上映用ＤＶＤを積極的に収集するとともに、官公庁・団体等からの寄贈資料も受入整理するなどして、映像資料・音声資料を充実させる。	投入指標 活動指標
５－７	保存環境の整備と職員研修の計画・実施	収集、蓄積した資料を適切に保存するため、保存環境を整備・管理するとともに、保存に関する知識技術の向上を図るため職員研修を計画・実施する。	その他